

決算短信補足資料

(2014年3月期決算)

2014年4月30日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期 通期実績 B	対前年		2015年3月期 通期予想 C	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A		増減 C-B	比率(%) C/B
【連結】							
営業収益	12,989	13,310	+321	102.5	13,195	▲ 115	99.1
営業利益	1,294	1,345	+50	103.9	1,175	▲ 170	87.3
経常利益	1,046	1,129	+82	107.9	985	▲ 144	87.2
当期純利益	601	656	+54	109.0	585	▲ 71	89.1
【単体】							
営業収益	8,685	8,736	+51	100.6	8,745	+8	100.1
運輸収入	7,691	7,806	+114	101.5	7,815	+8	100.1
営業費用	7,661	7,718	+56	100.7	7,795	+76	101.0
人件費	2,333	2,354	+20	100.9	2,330	▲ 24	98.9
物件費	3,427	3,516	+88	102.6	3,690	+173	104.9
動力費	371	431	+59	116.1	465	+33	107.9
修繕費	1,365	1,390	+24	101.8	1,465	+74	105.4
業務費	1,691	1,695	+4	100.3	1,760	+64	103.8
減価償却費	1,347	1,293	▲ 53	96.0	1,270	▲ 23	98.2
営業利益	1,023	1,017	▲ 5	99.5	950	▲ 67	93.3
経常利益	775	799	+24	103.1	750	▲ 49	93.8
当期純利益	419	486	+67	116.1	430	▲ 56	88.3

2.単体損益計算書

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	8,685	8,695	8,736	+51	100.6	+41
運輸収入	7,691	7,780	7,806	+114	101.5	+26
その他収入	993	915	930	▲ 63	93.6	+15
営業費用	7,661	7,705	7,718	+56	100.7	+13
人件費	2,333	2,350	2,354	+20	100.9	+4
物件費	3,427	3,495	3,516	+88	102.6	+21
動力費	371	430	431	+59	116.1	+1
修繕費	1,365	1,395	1,390	+24	101.8	▲ 4
業務費	1,691	1,670	1,695	+4	100.3	+25
線路使用料等	234	235	236	+1	100.6	+1
租税公課	317	315	316	▲ 0	99.8	+1
減価償却費	1,347	1,310	1,293	▲ 53	96.0	▲ 16
営業利益	1,023	990	1,017	▲ 5	99.5	+27
営業外損益	▲ 247	▲ 230	▲ 217	+29	87.9	+12
営業外収益	64	62	65	+1	—	+3
営業外費用	311	292	283	▲ 28	—	▲ 8
経常利益	775	760	799	+24	103.1	+39
特別損益	1	▲ 10	12	+10	—	+22
特別利益	399	—	238	▲ 161	—	—
特別損失	397	—	226	▲ 171	—	—
当期純利益	419	460	486	+67	116.1	+26

3.運輸収入の主な増減要因

(単位:億円)

		2014年3月期 通期実績					
		運輸収入	対前年	主な増減要因			
新幹線		3,644	+74 (102.1%)	基礎トレンド(101.4%)		+50	
				特殊 要因	曜日配列(9月3連休/年末年始)		+10
					インバウンド		+9
					増税前土休日好調(4Q)		+10
					競合要因等		▲ 11
					等		
在来線	近畿圏*	2,921	+31 (101.1%)	基礎トレンド(100.7%)		+19	
				特殊 要因	曜日配列(9月3連休/年末年始)		+2
					グランフロント大阪		+10
	その他*	1,239	+8 (100.7%)	基礎トレンド(100.8%)		+10	
				特殊 要因	曜日配列(9月3連休/年末年始)		+1
	在来線計		4,161	+40 (101.0%)			
	運輸収入計		7,806	+114 (101.5%)			

※荷物収入は金額些少のため省略

* 在来線運輸収入については、近畿圏とその他に配分する方法を見直しております。

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入*

(単位: 億円)

輸送人キロ

(単位: 百万人キロ)

	通期実績(4/1~3/31)			4Q実績(1/1~3/31)				通期実績(4/1~3/31)			4Q実績(1/1~3/31)		
	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年		2013年 3月期	2014年 3月期	対前年	2013年 3月期	2014年 3月期	対前年
全社計	7,691	7,806	+114 101.5%	1,860	1,908	+47 102.6%		54,769	55,894	+1,124 102.1%	12,986	13,733	+747 105.8%
新幹線	3,570	3,644	+74 102.1%	846	875	+29 103.5%		17,171	17,617	+446 102.6%	4,020	4,206	+186 104.6%
定期	90	93	+2 102.6%	22	23	+1 106.8%		736	762	+26 103.6%	177	200	+23 113.0%
定期外	3,479	3,551	+71 102.1%	824	852	+27 103.4%		16,434	16,854	+419 102.6%	3,842	4,005	+163 104.2%
在来線	4,120	4,161	+40 101.0%	1,014	1,032	+18 101.8%		37,598	38,276	+678 101.8%	8,965	9,527	+561 106.3%
定期	1,402	1,410	+8 100.6%	334	338	+3 101.1%		22,728	23,157	+428 101.9%	5,277	5,726	+449 108.5%
定期外	2,718	2,750	+32 101.2%	679	694	+14 102.2%		14,869	15,119	+249 101.7%	3,688	3,801	+112 103.1%
近畿圏	2,889	2,921	+31 101.1%	710	723	+12 101.8%		28,490	29,012	+522 101.8%	6,808	7,233	+425 106.3%
定期	1,132	1,138	+5 100.5%	271	273	+1 100.6%		18,398	18,724	+325 101.8%	4,308	4,643	+335 107.8%
定期外	1,757	1,783	+25 101.5%	439	450	+11 102.5%		10,091	10,288	+197 102.0%	2,499	2,590	+90 103.6%
その他	1,230	1,239	+8 100.7%	303	309	+5 101.9%		9,108	9,264	+155 101.7%	2,157	2,294	+136 106.3%
定期	269	271	+2 100.9%	63	65	+1 103.1%		4,330	4,433	+103 102.4%	969	1,083	+114 111.8%
定期外	961	967	+6 100.7%	240	243	+3 101.6%		4,778	4,830	+51 101.1%	1,188	1,211	+22 101.9%

* 運輸収入の内訳については一定の前提により配分しておりますが、より実態に即するため、在来線定期外収入(近畿圏とその他)の配分方法を見直しております。
上表に記載の数値は、昨年度実績を含め全て新たな配分方法で算出したものです。

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位:億円)

科目	2014年3月期通期実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,354	+20 (100.9%)	・健康保険・厚生年金保険料率変更+13 等
動力費	431	+59 (116.1%)	・電気料金値上げ・燃料価格上昇等+57 等
修繕費	1,390	+24 (101.8%)	・業務波動による増 等
業務費	1,695	+4 (100.3%)	・会社間清算減▲57 ・電気料金値上げ・燃料価格上昇等+9 ・発売手数料増+8 ・システム関連経費増+7 等
線路使用料等	236	+1 (100.6%)	
租税公課	316	▲ 0 (99.8%)	
減価償却費	1,293	▲ 53 (96.0%)	・償却進捗 等
営業費用計	7,718	+56 (100.7%)	

6.連結損益計算書

(単位: 億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	12,989	13,160	13,310	+321	102.5	+150
営業費用	11,694	11,860	11,964	+270	102.3	+104
営業利益	1,294	1,300	1,345	+50	103.9	+45
営業外損益	▲ 248	▲ 230	▲ 216	+31	87.1	+13
営業外収益	68	72	77	+9	-	+5
営業外費用	316	302	294	▲ 22	-	▲ 7
経常利益	1,046	1,070	1,129	+82	107.9	+59
特別損益	▲ 49	▲ 40	▲ 12	+37	-	+27
特別利益	415	-	263	▲ 152	-	-
特別損失	465	-	276	▲ 189	-	-
当期純利益	601	605	656	+54	109.0	+51
包括利益	550	-	679	+128	123.4	-

7.セグメント情報

(単位:億円)

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期		対前年		対予想 増減 C-B
		通期予想 (1/30公表) B	通期実績 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 ^{*1}	12,989	13,160	13,310	+321	102.5	+150
運輸業	8,449	8,470	8,513	+64	100.8	+43
流通業	2,346	2,364	2,401	+54	102.3	+37
物販・飲食	1,344	1,336	1,351	+7	100.6	+15
百貨店	935	940	945	+10	101.1	+5
不動産業	909	1,038	1,022	+113	112.5	▲ 15
ショッピングセンター	550	527	535	▲ 15	97.1	+8
不動産賃貸・販売 ^{*3}	342	494	471	+128	137.4	▲ 22
【分譲事業】	【69】	【218】	【191】			
その他	1,284	1,288	1,371	+87	106.8	+83
ホテル	330	331	334	+3	101.2	+3
旅行	388	410	415	+26	106.8	+5
営業利益 ^{*2}	1,294	1,300	1,345	+50	103.9	+45
運輸業	901	877	910	+9	101.0	+33
流通業	▲ 4	31	44	+49	-	+13
物販・飲食	33	-	39	+5	117.6	-
百貨店	▲ 40	-	2	+43	-	-
不動産業	280	277	277	▲ 2	99.2	+0
ショッピングセンター	87	-	79	▲ 8	90.5	-
不動産賃貸・販売	81	-	103	+22	127.2	-
その他	123	119	118	▲ 4	96.0	▲ 0
ホテル	23	-	20	▲ 3	86.5	-
旅行	7	-	8	+0	109.5	-

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。

内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 営業利益の各セグメントの内訳は、主な子会社の営業利益の単純合算値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*3} 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

8.単体業績予想

(単位:億円)

	2014年3月期 通期実績 A	2015年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	8,736	8,745	+8	100.1
運輸収入	7,806	7,815	+8	100.1
その他収入	930	930	▲ 0	100.0
営業費用	7,718	7,795	+76	101.0
人件費	2,354	2,330	▲ 24	98.9
物件費	3,516	3,690	+173	104.9
動力費	431	465	+33	107.9
修繕費	1,390	1,465	+74	105.4
業務費	1,695	1,760	+64	103.8
線路使用料等	236	185	▲ 51	78.3
租税公課	316	320	+3	101.0
減価償却費	1,293	1,270	▲ 23	98.2
営業利益	1,017	950	▲ 67	93.3
営業外損益	▲ 217	▲ 200	+17	91.8
営業外収益	65	66	+0	—
営業外費用	283	266	▲ 17	—
経常利益	799	750	▲ 49	93.8
特別損益	12	▲ 85	▲ 97	—
特別利益	238	—	—	—
特別損失	226	—	—	—
当期純利益	486	430	▲ 56	88.3

9.運輸収入の見通し

(単位:億円)

		2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期予想	対前年	
				増減	比率(%)
		A	B	B-A	B/A
新幹線		3,644	3,659	+14	100.4
在来線	近畿圏	2,921	2,921	+0	100.0
	その他	1,239	1,233	▲ 5	99.5
	在来線計	4,161	4,155	▲ 5	99.9
運輸収入計		7,806	7,815	+8	100.1

※荷物収入は金額些少のため省略

10.単体営業費用の見通し

(単位:億円)

科目	2015年3月期通期見通し		
		対前年	主な増減要因
人件費	2,330	▲ 24 (98.9%)	・退職手当減 ・健康保険・厚生年金等保険料率変更 等
動力費	465	+33 (107.9%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・燃料価格上昇・再エネ賦課金等増 等
修繕費	1,465	+74 (105.4%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・工事単価上昇 ・フリーゲージトレイン試験費増 等
業務費	1,760	+64 (103.8%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・システム関連経費増 ・燃料価格上昇・再エネ賦課金等増 等
線路使用料等	185	▲ 51 (78.3%)	・湖西線貸借期間終了 等
租税公課	320	+3 (101.0%)	・不動産取得税 等
減価償却費	1,270	▲ 23 (98.2%)	・北陸新幹線金沢開業準備経費 ・償却進捗 等
営業費用計	7,795	+76 (101.0%)	

11.連結業績予想

(単位:億円)

	2014年3月期 通期実績 A	2015年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	13,310	13,195	▲ 115	99.1
営業費用	11,964	12,020	+55	100.5
営業利益	1,345	1,175	▲ 170	87.3
営業外損益	▲ 216	▲ 190	+26	87.8
営業外収益	77	81	+3	-
営業外費用	294	271	▲ 23	-
経常利益	1,129	985	▲ 144	87.2
特別損益	▲ 12	▲ 90	▲ 77	-
特別利益	263	-	-	-
特別損失	276	-	-	-
当期純利益	656	585	▲ 71	89.1
1株当たり当期純利益(円)	338.98	302.16	-	-

12.連結業績予想(セグメント別)

(単位: 億円)

	2014年3月期 通期実績 A	2015年3月期 通期予想 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 ^{*1}	13,310	13,195	▲ 115	99.1
運輸業	8,513	8,528	+14	100.2
流通業	2,401	2,143	▲ 258	89.2
物販・飲食	1,351	1,298	▲ 53	96.0
百貨店	945	760	▲ 185	80.4
不動産業	1,022	892	▲ 130	87.2
ショッピングセンター	535	500	▲ 35	93.4
不動産賃貸・販売 ^{*2}	471	375	▲ 96	79.6
【分譲事業】	【191】	【81】		
その他	1,371	1,632	+260	119.0
ホテル	334	341	+6	102.0
旅行	415	418	+2	100.6
営業利益	1,345	1,175	▲ 170	87.3
運輸業	910	838	▲ 72	92.1
流通業	44	10	▲ 34	22.6
不動産業	277	237	▲ 40	85.3
その他	118	95	▲ 23	80.1

^{*1} 営業収益は、外部顧客に対する売上高(外部売上高)を示しており、各セグメントの内訳は、主な子会社の外部売上高の合計値です。内訳の合計値は、セグメント計と一致しません。

^{*2} 【 】は分譲売上(外部売上高)(再掲)です。

13.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位: 億円)

	2013年3月期 期末 A	2014年3月期 期末 B	増減 B-A
資産	26,137	26,878	+741
負債	18,455	18,805	+349
純資産	7,681	8,073	+392
長期債務残高	9,830	9,807	▲23
【長期債務平均金利(%)】	【2.84】	【2.63】	【▲0.21】
新幹線債務	2,442	2,051	▲390
【新幹線債務平均金利(%)】	【5.69】	【5.85】	【+0.16】
社債	4,499	4,599	+100
【社債平均金利(%)】	【2.11】	【2.08】	【▲0.03】
自己資本比率(%)	28.5	29.2	+0.6
1株当たり純資産(円)	3,850.82	4,048.31	+197.49

	2013年3月期 通期実績 A	2014年3月期 通期実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	2,380	2,377	▲2
投資活動によるキャッシュフロー	▲ 1,547	▲ 1,653	▲106
フリーキャッシュフロー	832	723	▲108
財務活動によるキャッシュフロー	▲ 852	▲ 478	+374
現金及び現金同等物の増減	▲ 19	245	+265
現金及び現金同等物の期末残高	483	729	+245

14.諸元表

(単位:人、億円)

	2013年3月期 通期実績	2014年3月期 通期実績	2015年3月期 通期予想
連結ROA (%)	4.9	5.1	4.3
連結ROE (%)	8.3	8.6	7.5
連結EBITDA ^{*1}	2,903	2,884	2,695
連結減価償却費	1,608	1,539	1,520
連結設備投資(自己資金)	1,529	1,667	2,240
単体設備投資(自己資金)	1,248	1,445	1,880
安全関連投資	727	893	900
1株当たり配当金(円)	110	115	120

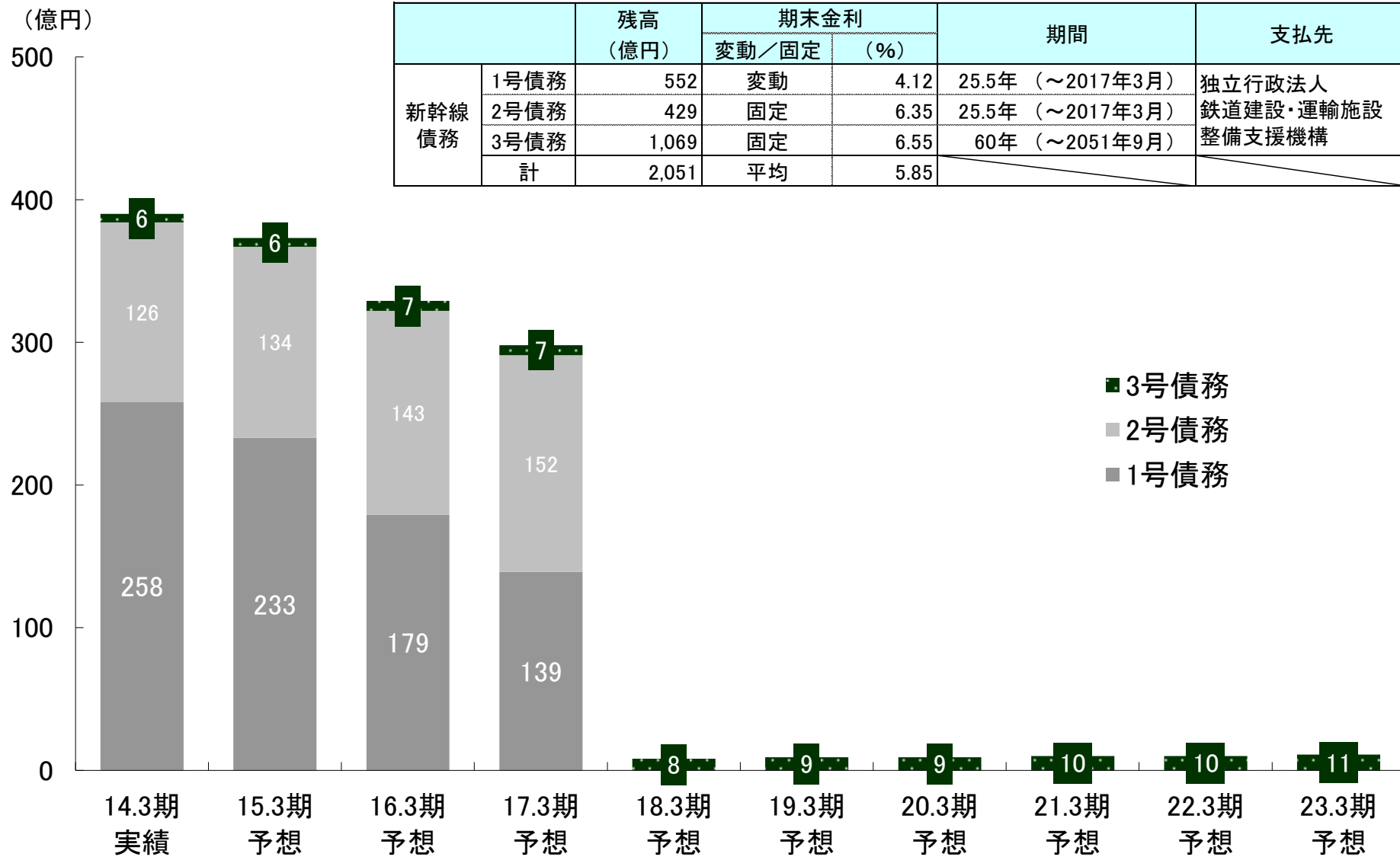
*1 EBITDA = 営業利益 + 減価償却費

	2013年3月期 通期実績		2014年3月期 通期実績		2015年3月期 通期予想	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数(就業人員)	45,326	26,889	46,006	27,300	—	—
金融収支	▲ 300	▲ 289	▲ 275	▲ 263	▲ 255	▲ 245
受取利息・配当金	3	13	5	14	5	14
支払利息	304	303	280	278	260	260

15.新幹線債務償還計画

【2014年3月末】

		残高 (億円)	期末金利		期間	支払先
			変動／固定	(%)		
新幹線 債務	1号債務	552	変動	4.12	25.5年（～2017年3月）	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設 整備支援機構
	2号債務	429	固定	6.35	25.5年（～2017年3月）	
	3号債務	1,069	固定	6.55	60年（～2051年9月）	
	計	2,051	平均	5.85		



将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとする重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2014年4月30日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2014年4月30日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <http://www.westjr.co.jp/company/ir/>